



しらがはどうしてできるの

かみの毛の色を決めているのは

かみの毛の中には、メラニンという色素（色のつぶ）が入っています。

かみの毛の色を決めるのは、かみの毛の中のメラニン色素と空気の量です。

黒いかみの毛には、このメラニン色素がたくさん入っています。メラニン色素が少なくなるにつれて、黒からかっ色、くり毛、金ぱつになっていきます。

しかし、このメラニン色素がどんなに少なくなっても、うすいとう明に見えるだけで、けっして、しらがにはなりません。

しらがができるのは

かみの毛の中には、細胞やたんぱく質がたくさんつまっています。細胞というのは、人間の体をつくるもとになっているもので、たんぱく質というのは、人間の栄養素の一つです。

しらがというのは、かみの毛のメラニン色素がなくなっていき、かみの毛の中心部分の細胞やたんぱく質がなくなって空どうができ、そこに空気が入ることによってできるのです。しらががきれいに光って見えるのは、毛の中に入っている空気が、光を反射するからです。

また、しらがになるのは遺伝と関係していて、若しらがになるのは、ほとんどが遺伝だといわれています。（監修・保志 宏）

